



都道府県別にみた死亡率の状況について

表1 年齢調整死亡率(人口10万対)の都道府県上・下3位の年次推移【男】

		昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年
		全 国 1036.5	全 国 923.5	全 国 812.9	全 国 747.9	全 国 719.6	全 国 634.2	全 国 593.2	全 国 544.3
上位	1	青 森 1159.3	青 森 1070.8	青 森 952.3	青 森 843.2	兵 庫 862.0	青 森 755.9	青 森 733.4	青 森 662.4
	2	栃 木 1155.3	秋 田 1008.3	大 阪 895.2	大 阪 825.2	青 森 833.1	秋 田 693.0	岩 手 647.3	秋 田 613.5
	3	秋 田 1154.1	栃 木 992.3	長 崎 872.5	和 歌 山 797.8	大 阪 773.8	大 阪 683.8	秋 田 645.2	岩 手 590.1
下位	45	沖 縄 957.1	東 京 861.0	長 野 754.7	沖 縄 691.5	熊 本 675.5	岐 阜 589.7	福 井 555.3	福 井 499.9
	46	東 京 948.4	香 川 853.7	香 川 750.9	福 井 691.4	福 井 661.3	福 井 589.0	滋 賀 552.3	滋 賀 496.4
	47	神 奈 川 947.3	沖 縄 798.0	沖 縄 679.2	長 野 669.5	長 野 617.9	長 野 579.5	長 野 539.4	長 野 477.3
沖縄県		45位 957.1	47位 798.0	47位 679.2	45位 691.5	42位 679.0	24位 632.8	35位 576.6	21位 547.3

資料:厚生労働省

表2 年齢調整死亡率(人口10万対)の都道府県上・下3位の年次推移【女】

		昭和50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年	22年
		全 国 685.1	全 国 579.8	全 国 482.9	全 国 423.0	全 国 384.7	全 国 323.9	全 国 298.6	全 国 274.9
上位	1	徳 島 754.9	栃 木 626.3	大 阪 531.6	大 阪 468.0	兵 庫 501.2	大 阪 347.8	栃 木 324.4	青 森 304.3
	2	秋 田 751.9	徳 島 623.4	青 森 523.1	栃 木 466.9	大 阪 414.5	青 森 346.5	青 森 322.9	栃 木 295.7
	3	岐 阜 744.6	大 阪 617.4	栃 木 522.4	茨 城 450.8	青 森 404.9	栃 木 343.2	和 歌 山 319.9	和 歌 山 294.5
下位	45	香 川 643.2	岡 山 543.9	岡 山 445.5	長 野 386.5	長 野 340.9	長 野 294.1	鳥 取 276.4	鳥 根 254.7
	46	静 岡 637.0	愛 媛 539.5	鳥 根 439.7	鳥 根 378.5	熊 本 337.4	沖 縄 288.0	長 野 273.8	新 潟 254.6
	47	沖 縄 567.2	沖 縄 438.6	沖 縄 347.1	沖 縄 349.2	沖 縄 322.9	鳥 根 286.9	鳥 根 271.2	長 野 248.8
沖縄県		47位 567.2	47位 438.6	47位 347.1	47位 349.2	47位 322.9	46位 288.0	35位 288.0	34位 267.0

資料:厚生労働省

先日、厚生労働省が公表した「都道府県別にみた死亡の状況 - 平成22年都道府県別年齢調整死亡率 - 」によると、年齢調整死亡率(以下、死亡率)が平成22年に最も高かったのは男女ともに青森県、最も低かったのは長野県だったことが分かりました。全国の死亡率は、男性が人口10万人当たり544.3人(平成17年の前回調査は593.2人)、女性は同274.9人(同298.6人)で、ともに下がっています。

一方、沖縄県の死亡率は、男性が547.3人(前回は576.6人)、女性が267.0人(同288.0人)となっています。

沖縄県の昭和50年以降の死亡率の推移をみると、全国同様減少傾向にあります。全国での順位をみると、男性は昭和50年から平成7年までは下位に位置し、平成12年以降は大きく順位を上げ、平成22年には21位となっています。女性は昭和50年から平成7年までは、最下位となっていたが、平成12年以降に順位を上げ、平成22年に34位となっています。【表1, 2】

表3 粗死亡率(人口10万対)の都道府県上・下3位【平成22年】

		男		女	
		全 国	1,029.2	全 国	869.2
上位	1	秋 田	1,470.7	鳥 根	1,209.0
	2	高 知	1,382.7	高 知	1,195.3
	3	鳥 根	1,353.9	秋 田	1,185.8
下位	45	埼 玉	860.4	埼 玉	700.8
	46	神 奈 川	835.3	神 奈 川	682.9
	47	沖 縄	797.4	沖 縄	671.5

資料:厚生労働省

ところで死亡率には、「年齢調整死亡率」と「粗死亡率」とがあり、前者は年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整し、そろえた死亡率のことで、後者は、都道府県別に死亡数を人口で除した死亡率のことをいっています。

「粗死亡率」を用いて都道府県別に比較すると、年齢構成に差があるため、高齢者の多い都道府県では高くなり、若年者の多い都道府県では低くなる傾向があります。

そのため、このような年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそろえた「年齢調整死亡率」を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができるのです。

参考までに、平成22年の粗死亡率(人口10万対)の都道府県上・下3位をみると、男性は秋田県が最も高く、女性は鳥根県が最も高くなっています。一方、高齢者の割合が低く、若年者の割合が高い沖縄県は男女ともに「粗死亡率」が最も低くなっています。【表3】

詳細については下記を参照

「都道府県別にみた死亡の状況(平成22年都道府県別年齢調整死亡率)」【厚生労働省】
(<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/other/10sibou/>)